

# NY マーケットレポート (2019年2月15日)

## 2019年2月15日 (金)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	20900.63	-239.08	4.43%	USD/JPY	110.41	110.64	110.26
ハンセン指数	27900.84	-531.21	7.95%	EUR/JPY	124.68	124.86	124.23
上海総合	2682.39	-37.31	7.56%	GBP/JPY	142.31	142.40	141.00
韓国総合	2196.09	-29.76	7.60%	AUD/JPY	78.82	78.92	78.10
豪ASX200	6066.10	+6.72	7.43%	NZD/JPY	75.75	75.90	75.12
インドSENSEX	35808.95	-67.27	-0.72%	EUR/USD	1.1293	1.1306	1.1234

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7236.68	+39.67	7.56%	NY GOLD	1322.10	+8.20	3.0%
仏CAC40	5153.19	+90.67	8.93%	NY 原油	55.59	+1.18	22.8%
独DAX	11299.80	+210.01	7.02%	CBOTコーン	382.75	-0.25	2.1%
スペインIBX35	9123.20	+170.70	6.83%	CRB指数	181.329	+2.608	6.8%
イタリアFTSE MIB	20212.34	+377.38	10.31%	トル指数先物	96.916	-0.062	0.7%
南ア全株指数	54628.41	+101.30	3.59%	VIX指数	14.91	-1.31	-41.4%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	25883.25	+443.86	10.96%	CBOE Bitcoin(先物-期近)	3565	3555
S&P500	2775.60	+29.87	10.72%	CME Bitcoin(先物-期近)	3560	3565
NASDAQ	7472.41	+45.46	12.62%	Ripple (BSTP)	0.296	0.300
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	120.51	120.51
トロント総合	15838.24	+142.26	10.58%	Bitcoin Cash	121.93	120.55
ボルサ指数	42988.72	+263.50	3.24%			
ボベスパ指数	97525.91	-489.19	10.97%			

\*一部暫定値

### 2/18 経済指標スケジュール

08:50 【日本】12月機械受注  
 09:01 【英国】2月ライトムーブ住宅価格  
 09:30 【シンガポール】1月電子機器輸出  
 09:30 【シンガポール】1月輸出[除石油]  
 16:00 【トルコ】1月住宅販売  
 20:30 【トルコ】12月住宅価格指数

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.168%	-0.168%
5年債	-0.165%	-0.159%
10年債	-0.021%	-0.014%
30年債	0.599%	0.612%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.101%	0.103%
英国10年債	1.160%	1.150%
フランス10年債	0.540%	0.530%
米国債利回り		
2年債	2.516%	2.494%
3年債	2.492%	2.473%
5年債	2.491%	2.473%
7年債	2.566%	2.553%
10年債	2.663%	2.654%
30年債	2.993%	2.998%

### 2/18 主要会議・講演・その他予定

・米国市場休場 (President's Day)

## NY 市場レポート

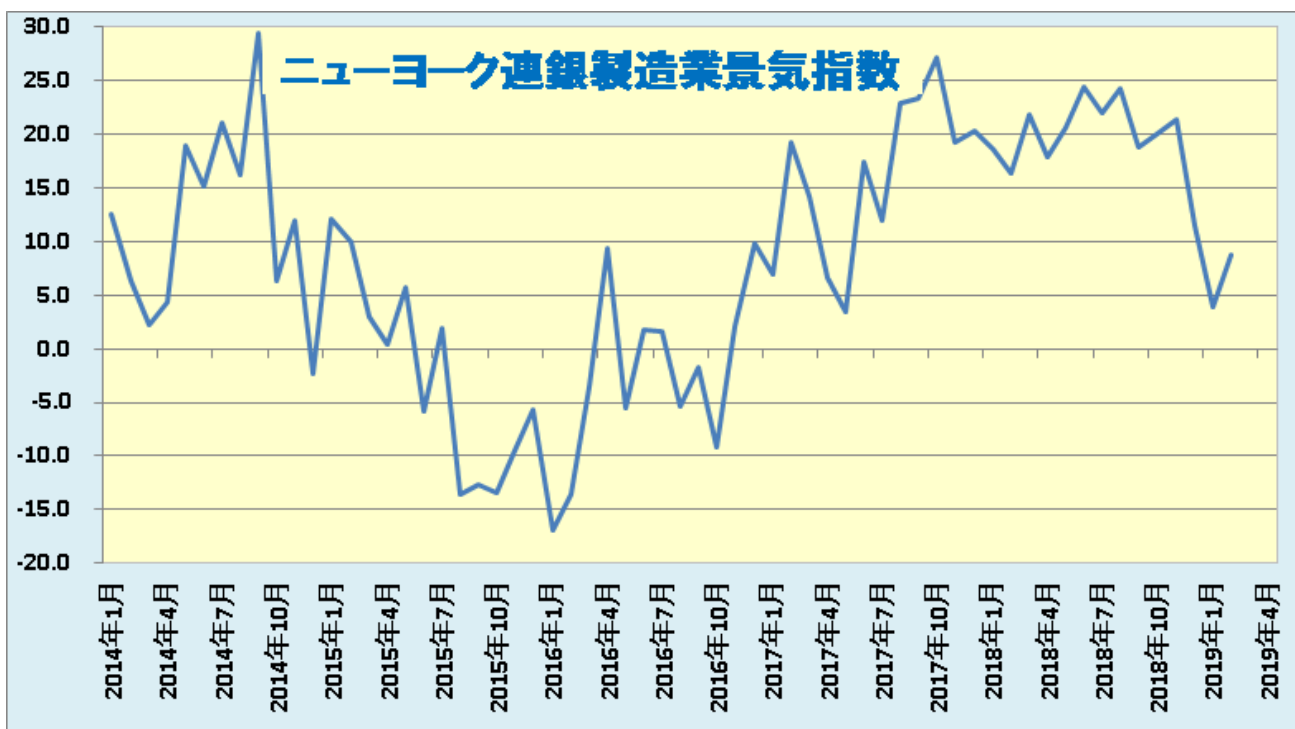
### ◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、米中通商協議の進展期待や、予想を上回った NY 連銀製造業景気指数の改善などを背景に、ドルは序盤から堅調な動きとなった。しかし、トランプ大統領の非常事態宣言への警戒感から上値の重い動きとなった。こうした中、トランプ米大統領がメキシコ国境壁建設予算を盛り込んだ歳出法案に署名したほか、非常事態宣言の宣誓をしたが、反応は限定的となった。そして、ミシガン大消費者信頼感指数も改善したことや、米主要株価指数の上昇が続いたこともあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。

### 主要な米経済指標結果

2月ニューヨーク連銀製造業景気指数 8.8（予想 7.0・前回 3.9）

2月のNY連銀製造業業況指数は、市場予想を上回る結果となり、前月からも4.9ポイント上昇した。統計データを見ると、新規受注が7.5（前月3.5）、販売価格が22.9（13.1）、在庫が-1.4（-7.6）と前月から上昇したものの、仕入価格は27.1（35.9）、出荷は10.4（17.9）、雇用者数は4.1（7.4）と低下しており、依然として不透明感が残っていると考えられる。一方、6ヵ月先の予想では、各指数の改善が目立っており、先行きに対する懸念が和らいでいることが推測される。

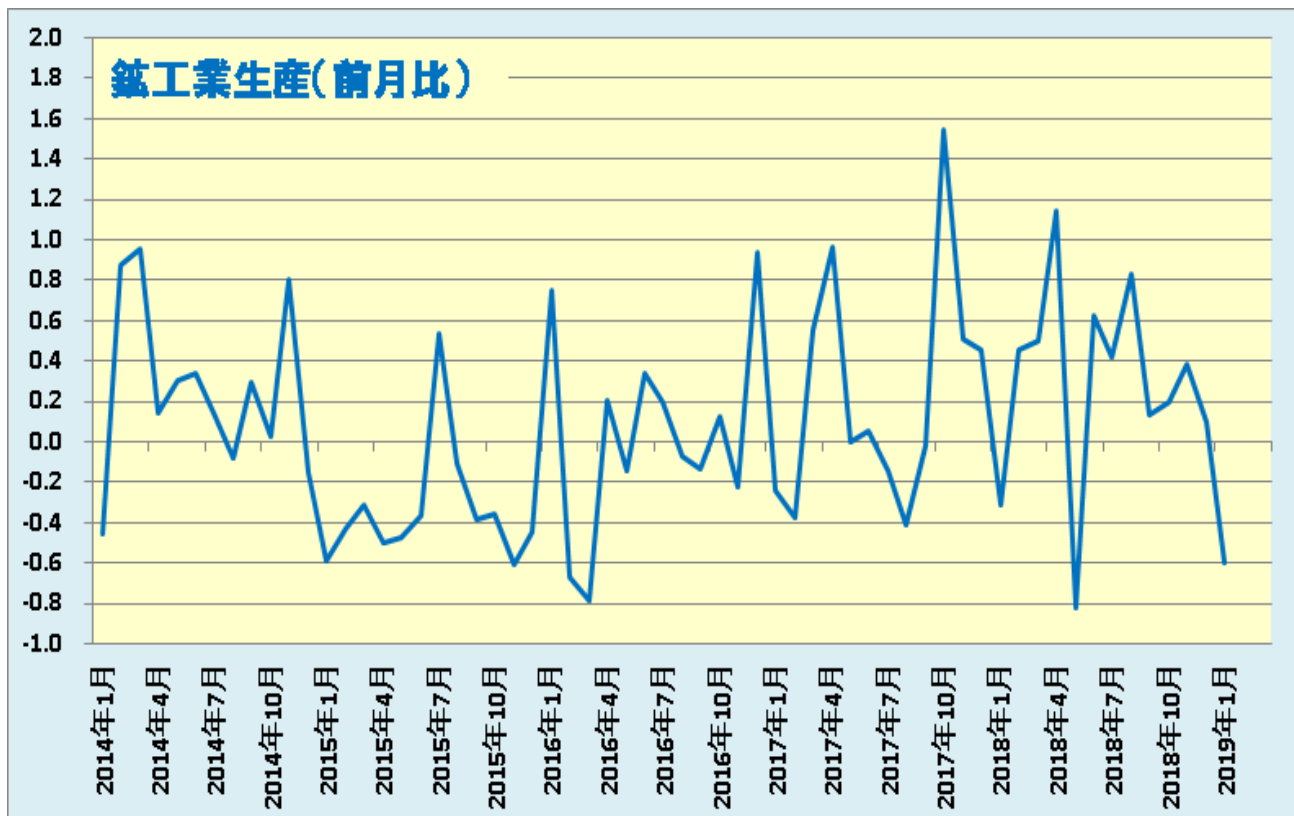


データを基に SBILM が作成

1月鉱工業生産（前月比） -0.6%（予想 0.1%・前回 0.3%⇒0.1%）

1月設備稼働率 78.2%（予想 78.7%・前回 78.7%⇒78.8%）

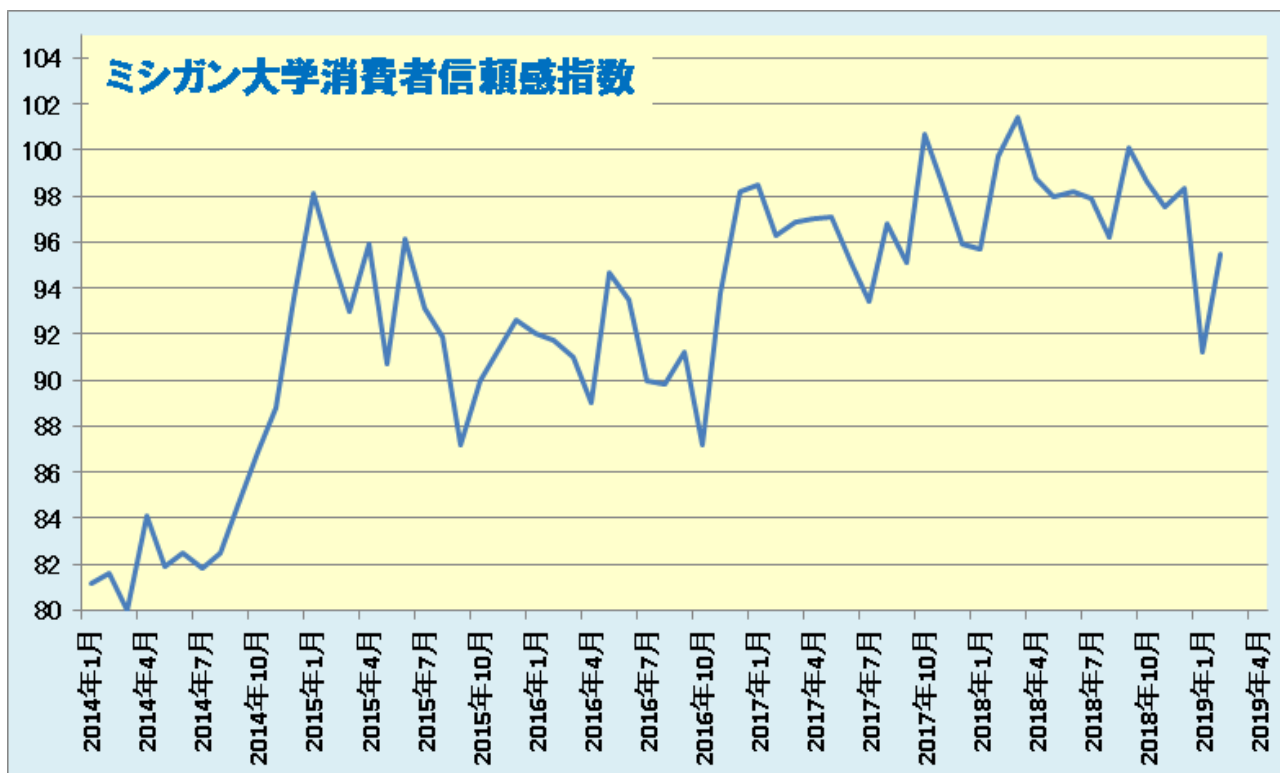
1月の米鉱工業生産は、市場予想を下回る結果となり、昨年5月以来8ヵ月ぶりのマイナスとなった。自動車・同部品が-8.8%（前月4.3%）、電子機器が-1.4%（1.7%）とマイナスに転じたことが全体を引き下げる要因となった。一方、製造業や鉱業の稼働率低下が影響し、全体の設備稼働率も前月から低下した。



データを基に SBILM が作成

2月ミシガン大学消費者信頼感指数 95.5 (予想 93.5・前回 91.2)

2月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想を上回る結果となり、1月の確報値から4.3ポイント上昇した。現状指数は110.0と1月確報値から1.2ポイント上昇、先行指数は86.2と1月確報値から6.3ポイント上昇、また1年後のインフレ期待は2.5%で1月確報値から0.2ポイント低下した。



データを基に SBILM が作成

### 米ダウ平均は約 3 ヶ月ぶりの高値、ナスダックは 6 営業日続伸

米株式市場は、米中の閣僚級貿易協議が進展したとの報道を受け、今後の協議に対する期待感も広がり、主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、引け間際に前日比 444 ドル高まで上昇し、高値圏で終了した。終値ベースでは、昨年 11 月上旬以来、約 3 ヶ月ぶりの高値となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、45 ポイント高となり、6 営業日続伸となった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	3.00%	1	ゴールドマン・サックスG	3.10%
2	資本財	2.21%	2	JPモルガン・チェース	3.06%
3	消費者サービス	2.09%	3	ダウ・デュボン	3.00%
4	通信サービス	2.09%	4	ユナイテッドT	2.92%
5	金融	2.00%	5	キャタピラー	2.70%

データを基に SBILM が作成

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。